



日耳鼻医学会FAXニュース

NO 120

平成18年9月8日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimujenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

“21世紀耳鼻臨床医フォーラム in 愛媛”

さわやかに盛会裡に終わる

8月26日(土)・27日(日)の両日、愛媛県松山市の道後温泉にあるメルパルク松山で各地から256名の会員・家族・職員の参加のもと、盛大に行われた。初日は分科会の後、懇親会が行われた。懇親会では鈴木徹フォーラム会長の挨拶、久野梧郎愛媛県医師会長の祝辞、清水淑郎日耳鼻医学会理事長の乾杯の後、宴に入り、アトラクションのフラメンコの踊りに興じつつ、瀬戸内海の味を楽しんでいた。翌日の全体集会の講演では、愛媛県の人工内耳の現況とリハビリテーション、補聴器の使い方、湿布の貼り方、宝住与一日医副会長の講演があり、最後に岐阜県耳鼻科医学会会長渡邊忠彦先生から来年8月開催のフォーラムの案内があった。全体集会は一般にも公開され、そのため手話通訳、要約筆記の人も準備されており、思いやり溢れた暖かい全体集会であった。

医会長協議会は 11月26日(日)に開催予定
愛媛フォーラム第2日目の全体集会の前に日耳鼻医学会の移動理事会が開かれ、今後の会議日程が下記のように予定された。

- 10月15日(日) 第3回全理事会
- 11月26日(日) 平成18年度第1回医会長協議会及び第4回全理事会
- 19年1月21日(日) 第5回全理事会
- 3月18日(日) 第6回全理事会
- 5月27日(日) 平成19年度第1回全理事会
- 6月24日(日) 平成19年度定時都道府県代議員会および総会

役員職務分担および新委員への委嘱決まる

移動理事会で6月に専任された新役員の職務分担が下のように決まった。また、前期委嘱の委員の他に、新しく阿部博章(鳥取)、小林照尚・根岸正之・坂口文雄・目澤朗憲(東京)各先生への委員委嘱が決まった。

- *事務局 所管副理事長 藤谷昭平
- ・庶務 (主)林成彦 (副)伊東祐久 (委員)小林照尚 坂口文雄
- ・広報 (主)中村兼一 (副)林成彦 (委員)増野肇 岩佐英之
- ・情報処理 (主)伊東祐久 (副)河合真 (委員)荒井和夫 阿部博章
- ・会計 (主)松井真人 (副)中村兼一 (委員)増野肇 根岸正之
- *生涯研修委員会 所管副理事長 藤谷昭平
- ・日常診療 (主)嶋田六郎 (副)盛庸
- ・医事問題 (主)宮本和雄 (副)武見敬三 (委員)目澤朗憲
- ・フォーラム (主)笠原行喜 (副)松井真人 (委員)増野肇
- *地域医療委員会 所管副理事長 鈴木徹
- ・健診事業 (主)河合真 (副)桧垣清高
- ・社会福祉 (主)滝田孫一 (副)宮本和雄
- *医業経営委員会 所管副理事長 本城好春
- ・医業経営 (主)荒川雄司 (副)嶋田六郎
- ・レセプト調査 (主)桧垣清高 (副)荒川雄司 (委員)岩佐英之 阿部博章

- ・社会保険 (主)石山英一 (副)柴原義博 (委員)江崎俊夫

高齢者の聴力チェックマニュアル作成

埼玉県医師会と埼玉県は、高齢者の難聴によるコミュニケーション障害が、難聴 家族内孤立・社会参加不可 生き甲斐の喪失 閉じこもり・認知症・うつに至るとして、「高齢者の聴力チェックマニュアル」を作成し、難聴を自覚していない高齢者の難聴の早期発見に努めることにした。平成20年度には介護予防健診に入れる予定。平成18年度からいくつかの市町村で実施されるようになり、来年度は県全体での実施を目指している。マニュアルの問い合わせ先は 〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-589-4 耳鼻咽喉科山崎医院 TEL 048-665-3364

添付文書に従い処方「漢方も同様」

福岡高裁判決、一審を支持
添付文書の効能・効果と異なる処方をした漢方薬が減点査定されたのは不服として、佐賀県内の診療所が社会保険診療報酬支払基金を相手取って減点相当分の支払いを求めていた控訴審で、福岡高裁が8月9日に同診療所の控訴を棄却する判決を示していたことが29日分かった。判決理由で福岡高裁は「漢方薬でも添付文書の効能・効果に従って処方するのが相当」と説明した。判決について社会保険診療報酬支払基金は「極めて正当な判断」としている。同診療所は判決を不服として上告の申し立てをしているという。

病院情報、都道府県HPに医師略歴や体制

安心、信頼できる病院選びに役立ててもらおうと、厚生労働省は21日までに、全国全ての病院や診療所(約17万5千施設)の診療内容や医師の略歴、医療体制などの情報を都道府県のHPに掲載させる方針を決めた。9月にも有識者による検討会を設け、具体的な情報の範囲を絞り込んだ上で来春から段階的に実施する。

来年4月施行の改正医療法は、患者が適切に病院を選ぶのに必要な情報を、医療機関が都道府県に報告し、都道府県が内容を公表するよう義務付けている。

自治体のHPに掲載されることで、医療機関の比較、選択が容易になるが、医療事故の件数などについては方針が定まっておらず「不利な内容も教えてほしい」との患者側のニーズがどこまで満たされるかは未知数。

プロスタグランジンH₂レセプター拮抗薬
アレルギー性鼻炎治療薬
バイナス 錠 50mg
錠 75mg
ロソクエン酸塩
塩酸塩水溶液
Baynas®
プロスタグランジンH₂レセプター拮抗薬
効能・効果、用法・用量、禁忌、副作用については、
添付文書をご参照ください。
※本薬の小児病に対する有効性は確立していません。
【重要情報】
販売(調剤)先(学術部) 製造販売元
日本新薬株式会社 バイエル薬品株式会社
東京都港区五反田四丁目1-4 大阪府吹田区高槻3-3-30
©2006年7月現在